

GSV-A グループスーパービジョンA

講師	取出 涼子 先生 医療法人社団 輝生会 ※ ¹		
内容	グループスーパービジョン		
受講要件	東京都医療ソーシャルワーカー協会正会員もしくは準会員 成果編集提出 (P1 参照)		
対象	実務経験 1～3 年未満		
受講料	無料 (東京都受託事業のため)		
会場	家庭クラブ会館 (新宿駅南口徒歩 8 分)		
日時	① 2026 6/18	⑥ 11/19	<div style="background-color: #f9cb9c; padding: 5px; border-radius: 10px;"> 第 3 木曜日 19:00～21:00 全回会場集合・対面形式 </div>
	② 7/16	⑦ 12/17	
	③ 8/20	⑧ 2027 1/21	
	④ 9/17	⑨ 2/18	
	⑤ 10/15	⑩ 3/18	
認定ポイント	日本医療ソーシャルワーカー協会認定医療ソーシャルワーカー認定講座 26P (欠席・遅刻・早退等からポイント発行に至らないことがあります)		
定員	9 名		
テキスト 参考文献	1. 「身体知と言語～対人援助技術を鍛える～」 奥川幸子 2007 中央法規 相談援助を表す図を SV 内でご紹介します。 2. 「高齢者援助における相談面接の理論と実際」 渡部律子 2011 医歯薬出版 (ソーシャルワーク援助プロセスを実践化するために私が最も助けられた本です。)		
申込期間	2026/5/1 (金)～ 6/10 (水) 先着順、未受講者優先		

講師より本講座のご案内

私は、新人 MSW の時から現在まで、スーパービジョンを受けながら現場で働き続けています。経験を積んでも実践に悩みはつきものです。スーパービジョンを受け、既に知っている知識や技術を実践に結びつけて見直すことで、自分の次の課題が見えたり自分で軌道修正ができるようになりました。スーパービジョンは業務に欠かせないものだと実感しています。特に、実務経験 1～3 年目の時代は、ソーシャルワークの原則や援助プロセスの原則に沿った実践の基礎固めの時期ですので、ぜひスーパービジョンを活用していただきたいと思います。

過去3年間のこの講座は参加者のみなさんが医療機関の多職種連携と地域完結型医療の仕組みの中で少しでも良い援助を行いたいと思う高い志に触れる貴重な時間でしたので、今年度も実践事例を通したグループスーパービジョンを行います。昨年度は、楽しく学べる、アセスメントの基盤となる情報収集のトレーニング、ストレングスの視点強化のトレーニングの手法も取り入れました。

なお、このグループスーパービジョンは正式にはグループスーパービジョン的コンサルテーションです。ここで事例に対して話し合われた内容を実践に活かす場合、組織の上司に報告し、組織の援助方針として採用されてからとすることは前提とすることをお願いします。

参考文献は、購入しなくても受講には影響しません。ただし自分のソーシャルワークの基礎となる教科書は、原則に立ち返ることができ、学生時代に読むのとは違う深い学びをもたらしますので、「私の一冊」は探し求めているとよいと思います。

※ 1: 上智大学文学部社会福祉学科卒業。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 (通信課程) 修了。人工透析専門サテライトクリニック、大学病院ソーシャルワーカーを経て2002年医療法人社団輝生会入職。初台リハビリテーション病院 SW 部門チーフ、法人 SWCM 部門統括、人財育成局部長等を経て現在初台リハビリテーション病院外来・通所ソーシャルワーカー / 同法人 SWCM 部門スーパーバイザー。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、認定医療社会福祉士、認定社会福祉士 (医療分野)、奥川幸子先生スーパービジョン受講歴有り。